

第7回全国高校生手話パフォーマンス甲子園



令和2年9月27日(日)に開催した
第7回全国高校生手話パフォーマンス
甲子園で披露された高校生たちの白熱の

パフォーマンスを公開中！

公式チャンネルはこちら→



結果発表

開催日 令和2年9月27日(日)

会場 WEB開催

表彰内容	チーム名 (都道府県)	得点
優勝	奈良県立ろう学校 (奈良県)	270点
準優勝	熊本聾学校 (熊本県)	268点
第3位	真和志高等学校 (沖縄県)	267点
審査員特別賞	聖心学園中等教育学校 (奈良県)	—

表彰内容	チーム名 (都道府県)
全日本ろうあ連盟賞	済美高等学校・松山聾学校 (愛媛県)
日本財団賞	クラーク記念国際高等学校東京キャンパス (東京都)
鳥取県聴覚障害者協会賞	身延山高等学校 (山梨県)

※上記以外の本大会出場チームに、手話パフォーマンス奨励賞を授与

本校高等部は、昨年度に引き続き、済美高校と合同チームを組み、本選出場を果たしました。

昨年度までは、鳥取県を会場に開催されていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン開催へと変更となりました。予選突破したチームは、事前に8分の発表動画を撮影、本部へ郵送。大会当日はZoomとYouTubeを使用しての中継、放映となりました。

本チームは、「パンデミック～緊急事態宣言から生まれたNew Life～」のテーマで、歌唱、演劇、漫才を組み合わせた演技を披露しました。コロナに負けないユーモアあふれる発想、笑顔いっぱいの演技は、私たちに大きな感動を与えてくれました。

結果は、なんと……！「全日本ろうあ連盟賞」を受賞！！

高等部生徒の皆さん、済美高校生徒の皆さん、おめでとうございます！！

また、文化祭の高等部ステージ発表では、「プロフェッショナル ～手話パフォーマンス甲子園への道のり～」のテーマで、受賞までの道のりを一本の動画にまとめて放映しました。発表の最後に、生徒と先生たちが一緒に披露した手話歌「ハピネス」は、高等部全体が一致団結し、今まで歩んできたことが伝わってくる心温まる発表でした。



令和2年度 第1回「愛媛難聴児を共に育む会」お知らせ

日時 令和2年 11月22日(日)

場所 愛媛県視聴覚福祉センター 4F 多目的ホール

対象 難聴児を受け入れている幼稚園、保育園、小・中・高等学校の通常学級担任、
難聴特別支援学級担任、特別支援学校担任、教育支援員 等

内容 講演、紹介・発表、情報交換

講演内容

「聴覚障がいのある幼児児童生徒と共に」
鷹の子病院愛媛人工内耳リハビリセンター所長
愛媛県特別支援教育専門家チーム委員
愛媛県特別支援教育巡回相談員兼合理的配慮協力員
愛媛大学名誉教授

高橋 信雄



紹介・発表内容

「学校における手話歌の取り組みについて」
愛媛人工内耳装用児の会「うさぎのわ」

支援内容や方法等についての情報交換

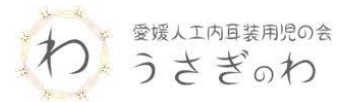
申込み方法

11月19日までに、学校・施設名、職名、氏名、電話番号等を御記入の上、次の連絡先へメールにてお申し込みください。

連絡先: 愛媛県立松山聾学校 河村 義和 TEL:089-979-2211

メール:kawamura-yoshi3@school.esnet.ed.jp

※ 新型コロナウイルス感染拡大等の状況により、延期または中止となる場合があります。



株式会社 そば吉 様からの贈呈

株式会社 そば吉 様から、ロジャーデジマスター5000 1台専用三脚を贈呈していただきました。

贈呈していただいたロジャーデジマスター5000は、線音源スピーカーです。一般的なスピーカーに比べ、距離による音の減衰が少なく、反響や残響も抑えることで、明瞭な音声を教室や会議室の後方まで届けることができます。また、ロジャーマイクロホンとロジャーデジマスターを一緒に使用するシンプルなシステムです。

学校行事や各部の授業等で活用させていただきます。

株式会社 そば吉 様、ありがとうございました。

そば吉



コロナ対策① 教室に乾燥機（滅菌装置）を配置

本校では、コロナ対策の一つとして補聴器乾燥機を購入していただきました。16台を各学級に配置して、活用しています。

乾燥機は、補聴器や人工内耳を乾燥するとともに、紫外線照射による滅菌も行ってくれます。

また、空気(ボタン)電池の電池残量計も備えています。

体育の後、汗をかいたとき、少しの時間、補聴器等を休ませてあげるといいですね。



コロナ対策② ロジャー製品の消毒について

ワイヤレス補聴援助システムの一つ、フォナック社のロジャー製品が使われている方は多くおられます。ロジャー製品の消毒については、WEB検索して『COVID-19 ロジャー製品取扱ガイド ロジャー製品の消毒について』を閲覧してもらうと詳しく載っています。

そこには、消毒剤としておすすめできるものとして「・水成分で作られた消毒剤(最も推奨する)・上記製品がなければ、イソプロパノール70%を占めた消毒剤」と示されています。

「補聴器のトーシン松山店」様を通じて、メーカー推奨の消毒剤を教えてくださいました。右のような消毒布で、イソプロパノール70%となっています。薬局や、ネット通販にて購入が可能です。



白十字 ポケットコール 150包入



コロナ対策③ 耳が痛くなりにくいマスクバンド

コロナ対応のグッズが、お店にたくさん並ぶようになってきました。耳が痛くなりやすい補助器具も100円ショップでも販売されるようになりました。

試してみられてはいかがですか？右のものは、二つともセリア(Seria)で購入できます。



補装具費支給制度で、人工内耳(体外器)の修理が可能に

今年の「補装具の種目、購入等に要する費用の額の算定等に関する基準の改正」で、人工内耳が補装具項目に新設され、人工内耳(体外器)の修理が補装具助成されることになりました。

人工内耳は、医療保険の給付対象であり、これまでは補装具費支給制度での支給は受けられませんでした。

補装具費支給制度の原則は、制度を利用して交付されたものに対してのみ修理費用を支給するきまりとなっていて、これまで人工内耳の破損に対しての費用は自己負担となっていました。今回の改正により、人工内耳の修理のみ費用が助成されるようになりました。

ポイント

○スピーチプロセッサ/サウンドプロセッサの修理

補装具の種目に 基準額30,000円 1割負担 所得制限あり

○医師が必要と判断する「人工内耳用音声信号処理装置(標準型や残存聴力活用型)」の修理のみ

○以下の機器の交換や修理は本取扱いの対象外

1 人工内耳用インプラント

2 人工内耳用ヘッドセット

(マイクロホン・送信コイル・送信ケーブル・マグネット・接続ケーブル等)

3 人工内耳用音声信号処理装置の電池

※ 参照:「補装具の種目、購入等に要する費用の額の算定等に関する基準の改正」に係る Q&A(厚生労働省 HP 令和2年3月31日付)

県内自治体の人工内耳助成(まとめ)

県内の人工内耳についての助成状況をまとめてみました。参考にして下さい。

○体外機助成について

県内、13の市町で制度を設けています。

「スピーチプロセッサ上限30万円、耐用年数5年、1割自己負担」という内容が一般的です。

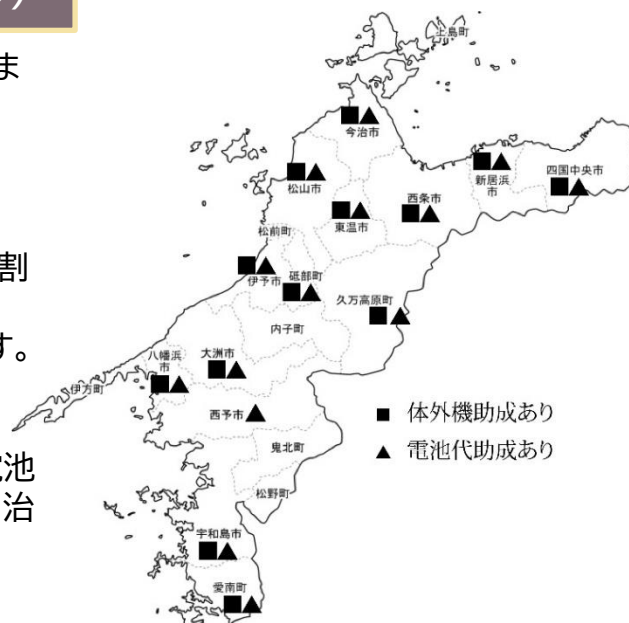
自治体によって異なる点があるので確認が必要です。

○電池代助成について

14の市町で制度があります。

「月額2,000円、1割自己負担」が一般的です。充電機や充電器の助成がある自治体、月額が2,500円の自治体もありますので、確認してみてください。

参照:人工内耳友の会ACITA HP



第2回 学校公開 お知らせ

日時 令和2年11月14日(土)

場所 愛媛県立松山聾学校

内容 授業参観、施設参観、難聴体験等

※ 新型コロナウイルス感染予防対策のため、マスクの励行等をお願いします。

申込み方法等の詳細につきましては、本校のホームページに掲載していますので、ご覧いただき、お申し込みください。

